

# 山口地方検察庁

## 業務説明会のご案内



山口地方検察庁庁舎

### 検察庁付近地図



JR山口駅から徒歩5分▲

**検察庁ってどういう仕事をしているんだろう？**  
**採用後のキャリアパスは？ 検察官になれるって本当？**

### 内 容

業務説明、庁舎内見学、若手職員との座談会、質疑応答

### 日 時

- 第1回 6月14日（金） 14:00～16:30
- 第2回 6月19日（水） 9:30～12:00
- 第3回 6月19日（水） 14:00～16:30
- 第4回 6月20日（木） 9:30～12:00

### 場 所

山口市駅通り1丁目1番2号 山口地方検察庁  
※自家用車による来庁はご遠慮願います。

### 参加方法

メールで予約 6月10日(月)15:00まで

宛先 [ppo30-jinji2024.o5h@i.moj.go.jp](mailto:ppo30-jinji2024.o5h@i.moj.go.jp)

件名 「業務説明会予約」

本文 ①氏名（よみがな）②電話番号

③参加を希望する日程（第3希望まで）

マンツーマンで  
質問にお答えします！  
是非参加してね！



法教育マスコットキャラクター  
「ハウリス君」

# 活躍中の若手立会事務官に質問してみました！

## 立会事務官とは・・・

検察官を補佐して、捜査や公判（裁判）業務を担当する検察事務官を「立会事務官」といいます。窃盗、詐欺、殺人事件などの刑事事件のほか、交通事故や交通違反といった交通事件について、検察官が行う被疑者の取調べや被害者・目撃者などの事情聴取に同席して供述調書の作成などを行います。また、警察等関係機関との連絡調整や、公判に必要な書類を作成するなど、検察官のパートナーとして事件捜査や裁判に関する様々な事務を行います。

### 採用2年目

私は、祖父の影響で、幼少期から警察官を目指していましたが、高校生の時に検察庁は捜査に限らず公判にも携われることを知り、仕事の幅が広いことに魅力を感じて検察庁を志望しました。また、事務官から副検事を目指せるという点にも魅力を感じました。

入庁する前は、日々緊張感のあるお堅い雰囲気職場というイメージがありましたが、いざ入庁してみると、検察官・事務官関係なく、気さくに声をかけてくださる方が多く、とてもアットホームな職場環境に驚きました。

ニュースなどで取り上げられる事件の捜査や通常であれば目にする事のない証拠品の管理等に自ら携わることができる点です。特殊な仕事であることから必然的に責任は伴いますが、1つ1つの業務に大変やりがいを感じます。

山口地検では、捜査と公判で部署が分かれておらず、1つの事件について、捜査から公判まで同じ検察官が対応するので、立会事務官として幅広く業務を経験することができますし、1つの事件に最初から最後までじっくりと関わることができる魅力があります。

検察庁は法律の知識が必要だというイメージがあるかと思いますが、各種研修が充実しており、法律の知識がなくても全く問題ありません。少しでも検察庁に興味を持たれたら、是非説明会等に参加していただきたいです。

## 検察庁を志望した動機は？

## 採用前と採用後、検察庁のイメージに変化はありましたか？

## 検察庁に入って良かったことは？

## 山口地検の魅力は何ですか？

## 皆さんへメッセージをお願いします！

### 採用3年目

検察庁の業務説明会に参加した際、検察庁では自分が学んだことを活かしながら、社会秩序の維持に貢献できることに魅力を感じ、普段生活している中では、なかなか関わることのできない刑事事件に関わりたいと思い、志望しました。

採用前は「検察庁＝事件捜査」というイメージを強く持っていましたが、捜査部門以外にも検務部門や事務局部門での仕事もあり、すべての部門を経験した後に、自身の適性に合った仕事を選べます。

刑事手続に広く関与することができることです。その分、法制度の理解が必要であったり、大きな責任も伴いますが、検察官と一緒に取り組んでいくことにやりがいを感じて仕事ができています。

大規模庁のように部署が細分化されていないからこそ、採用1年目から担当以外の業務にも幅広く関わることができ、色々な経験が積めます。そのため、一連の流れをつかみやすく、仕事の全体像をとらえやすいことに魅力を感じます。

検察庁には今まで関わったことがない人がほとんどだと思います。このチラシや業務説明会をきっかけに少しでも検察庁に興味を持ってもらい、来年から一緒に検察庁で働くことができると嬉しいです。

## 山口地方検察庁はどういう職場？

### 仕事と家庭の両立ができる職場

ワークライフバランスの推進に力を入れており、仕事と家庭の両立ができる職場です。有給休暇だけでなく、夏季休暇、ボランティア休暇、子育てや介護のための特別休暇などがあります。また、女性職員だけでなく、男性職員も積極的に育児休業を取得しています。その他にも、早出・遅出出勤制度を利用して働く時間の柔軟化を図ったり、業務応援を積極的にに行い休暇が取りやすい雰囲気であったりと、プライベートを充実させることのできる職場です。

### 採用後の研修が充実

検察庁では、採用後の研修が充実しています。法律の知識がなくても、継続的に研修と実務を繰り返すことにより、検察事務官として必要な知識・技能を身につけることができます。現役の検察官や検察事務官等が講師となって講義をするので、より実務に即した研修となっています。また、約30～40名の検察事務官が集まって研修を受けるので、同期との親睦を深めることもできます。

【国家公務員一般職試験（大卒程度）採用者の場合】



### キャリアアップが多样

山口地検で採用されれば、基本的には山口県内の異動となります。他にもキャリアアップの選択肢として、法務省や最高検察庁、広島高等検察庁への異動や他省庁への人事交流も可能で、様々な経験ができます。また、副検事や検事になる道も開かれています。

### 女性職員も活躍中

山口地検では、多くの女性職員が活躍しています。特に20歳代、30歳代の職員約50名のうち、半数が女性職員です。

### 山口地検の採用状況 ※R6年度の採用人数は未定です。

試験年度	R1	R2	R3	R4	R5
大卒程度	3	2	2	2	3
高卒者	3	1	1	0	1



山口地方検察庁HP